

2025年3月17日

鼻咽ファイバースコープの消毒液交換の不備について
(お詫びとご報告)

この度、当病院耳鼻咽喉科外来におきまして、診察に使用する鼻咽ファイバースコープ（以下、スコープ）の消毒の際に使用しておりました内視鏡洗浄消毒液セクリン（以下、消毒液）の交換に不備があり、スコープの十分な消毒が実施できていない事案が発生していることが2025年2月18日に判明いたしました。

当院では、患者様に安全な医療の提供に向けて、平素より鋭意取り組んでまいりましたが、患者様やご家族の皆様には大変ご心配をおかけすることになりましたことを心よりお詫び申し上げます。

このスコープは耳鼻咽喉科外来の患者様に対して鼻や喉の奥の状態を詳しく観察するための器具で、使用ごとに洗浄・消毒を行います。

洗浄・消毒の方法としては、①流水下でスコープに付着した汚れ（血液・体液）を除去する。②さらに、内視鏡洗浄消毒器エスパルプラス（以下、洗浄消毒器）を用いて蛋白除去用アルカリ洗剤で温水洗浄する。③洗浄後、消毒液へ浸漬させる。④流水によりすすぐ。（この②～④までが自動工程）⑤洗浄消毒器からスコープを取り出し、水分をふき取り乾燥させる、という手順で行っています。

今回、②の洗浄までは十分に行われていましたが、③の消毒の段階で、セットした消毒液をおよそ8ヵ月間（2024年6月13日から2025年2月18日まで）交換せずに使い続けておりました。

今回の事案判明後、当院では、早急に調査委員会を立ち上げ、事実関係を確認するとともに、患者様への影響の有無や発生原因を調査した結果、洗浄消毒器や消毒液の管理が不十分であったこと等が主な原因と考えております。

当事案においては、①、②及び④の段階の洗浄は実施できていることから、基本的な洗浄はできており、患者様への感染リスクは極めて低いと考えられるものの、当院ではこのような事態を招いたことを厳粛に受け止め、公表することにいたしました。

また、対象となる患者様に対しては個別にご連絡を差し上げ、対応しております。

現在は③の段階も含め、スコープの適正な洗浄・消毒が実施できていることを確認しておりますが、今後は患者様の安全に対する意識をさらに高め、このような事案を繰り返さないよう再発防止に努めてまいります。

松下記念病院
病院長 村田博昭

<本件に関するお問い合わせ窓口>

パナソニック健康保険組合 松下記念病院

専用電話：06-6992-7251（土日祝を除く9時～17時）